

**単元名 異文化を探究し、知識を共有する**

1. 単元の目標・ねらい(題材設定の理由など)

この単元では、前単元で興味を持ったテーマについて探求活動を展開し、その成果をプレゼンテーション活動を通じてクラスで共有させる。その過程で、コミュニケーションの効果を高めるために必要な手法を考えさせる。

「総合的な学習」では、知識を与えるだけではなく、体験的な学習が求められている。しかしここでは、発表の内容はすべて新しい知識ばかりである。活動を意義深いものとするためには、内容によっては知識の面でも深い掘り下げが必要であり、幅広い材料から聴き手がテーマの理解を深めるようなプレゼンテーションの内容構成が必要になる。

探求活動を進めている過程において、生徒が調べたことをただまとめていくという様子がよく見られるであろう。発表活動の準備段階では、伝えたいことは何か、それを最も効果的に伝える方法は何か、ということ聴き手の立場にたって熟慮させる必要がある。また、著作権に配慮した調査・探求活動を生徒に意識させなければならない。

プレゼンテーションは「構成案→原稿作成→リハーサル→見直し→本番」のプロセスを経て内容を完成するが、その時、生徒が効果的な発表技法を追求し、自らコミュニケーション能力を高めることのできるよう、活動を支えていく必要がある。調べたことをすべて出した、というだけに終わることのないように、励ましつつも、考えさせ続けなければならない。

例えば、発表原稿をもとに指導する時に、「聴き手がわかりにくいところはどこか」、「絵図をどのように、どのタイミングで提示すれば内容理解を助ける効果は最大になるか」と自分たちで考えさせることができる。もちろん、生徒の限られた経験を補うようなヒントは教師が用意せねばならないだろう。しかし、問題は生徒に発見させたい。自分たちで発見して納得したことが、よりよい改善に結びつくであろう。

この活動の評価は、教師評価・自己評価に加えて、相互評価を取り入れる。目標を明確に持って熱心に探求活動を行った結果、TCへの関心が高まり、他のプレゼンテーションから学ぼうという姿勢が強くなり、生徒の評価者としての観察眼はするどくなっているはずである。

プレゼンテーションの評価の観点を中心にすることで、内容が精選され、聴き手の集中力が高まると期待したい。

5年組 班員名前 xx, ΔΔ, OO, 代表 □□

**プレゼンテーション構想案 (見本)**

グループの探求課題【テーマ】: OOにおけるΔΔを通じて見える日本との関係

プレゼンテーションにおける使用言語: \_\_\_\_\_

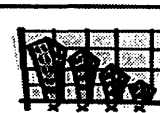
その言語を選んだ理由: \_\_\_\_\_

---

【トピック1】: \_\_\_\_\_

【提示する絵図】

テーマ: ΔΔにおける～



【プレゼンの構想】

【絵図の提示方法】

提示する絵図を用いて、発表する内容の概要をまとめる。

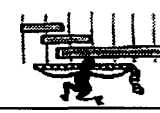
どのようにすれば、効果的に、資料を提示できるかを考え、その方法を説明する。

---

【トピック2】: \_\_\_\_\_

【提示する絵図】

テーマ: ΔΔにおける～



【プレゼンの構想】

【絵図の提示方法】

[プレゼンテーション構想案の例]

## 2. 評価の方法・観点

教師が生徒の学習状況を把握するために評価することはよく行われているが、この単元では、生徒が自ら問題解決を進めることができるように、以下の評価活動を利用させ、教師は生徒が自己改善していく過程を観察する。

### (1). 異文化に対する興味・関心

探求活動・表現活動の過程で、どのように異文化に対する興味関心が深まったか、教師が原稿を分析したり、生徒に自己評価させる。

### (2). 探求活動を深め、問題解決をすすめる能力

探求活動中は、以下の3点について、生徒の自己反省も併せて、活動の様子を観察する。

- ①グループ活動への貢献を常に積極的に思考しているか。
- ②構成員間の興味・関心の違いをお互いに理解し、認め合っているか。
- ③複数の構成員の視点を活かして、作品の質を高めようとしているか。

プレゼンテーションの後に、生徒は以下の観点についてグループ内で反省し、代表がまとめる。

- ①テーマの設定 ②個人の役割 ③準備の手順やペース
- ④発表時の役割分担 ⑤テーマについての知識の理解

### (3). わかりやすい表現活動を展開する技能

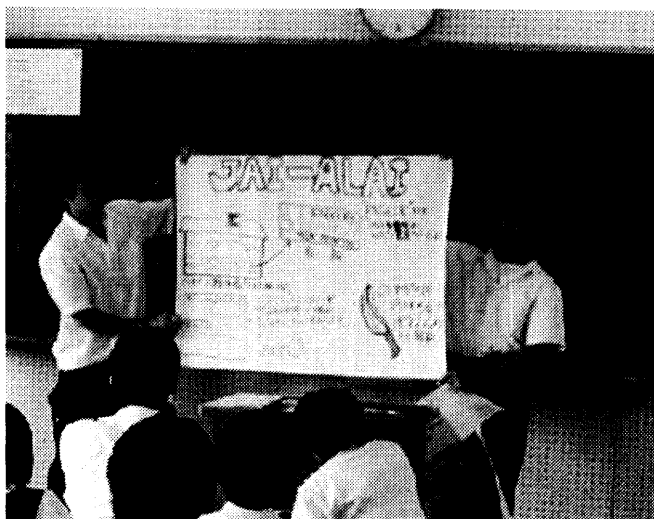
調べたことを聴き手の立場に立って構成した発表原稿を作成させるが、リハーサルを通じて得た助言や提案を、発表内容の改善に結びつけるために、問題点を自分たちで指摘させ、不十分な点は教師が補う。

プレゼンテーションの相互評価の観点は以下の通りで、5段階評価する：

- ①聴衆をひきつける工夫 ②絵図の提示方法 ③プレゼンテーションの内容
- さらに「印象的だったこと」、「よくわからなかったこと」を具体的に記述させる。

教師評価には以下の観点も加える：

- ④グループの協力体制 ⑤時間の使い方



[生徒によるプレゼンテーション]

3. 単元計画 2. 異文化を探求し、知識を共有する (配当時間計 9時間)

題目 (配当時間)	学習内容	指導上の留意点
<p>①調査・探求活動 (2時間)</p> <p>②プレゼンテーションの構想完成・発表準備 (2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションのテーマについて関連文献や資料を集め、理解を深める。</li> <li>・過去の生徒が作ったプレゼンテーションの絵図を提示し、その発表の内容を推測させる。絵図と内容を一致させることの重要性に気づかせる。</li> <li>・自分たちのプレゼンテーションの構想を、使用する絵図を柱に整理させる。</li> <li>・使用言語については、自分たちのスピーチの内容・目的を理由付けさせて日本語／英語の選択をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションで時間制限があるので、テーマが大きく広がっていかないよう注意しつつ、理解が深まるよう助言する。</li> <li>・調べた内容は、テーマに沿って十分に理解され、整理されているか。</li> <li>・絵図とその提示方法が、聴衆の内容理解を促すものであるか、生徒に考えさせる。</li> <li>・著作権に配慮して資料を作成しているか。</li> <li>・使用言語の選定理由は妥当性があるか。</li> </ul>
<p>③リハーサル (2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハーサルを各グループで行う。必ず1回は教師が立ち会って行う。</li> <li>・ビデオ撮影したものを生徒自身に視聴させ、自己反省の材料とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの教師評価と同じ観点で評価し、助言する。</li> <li>・生徒が自ら問題点を指摘し、改善につなげられるか。</li> </ul>
<p>③プレゼンテーション (2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの持ち時間は8分。生徒の評価／移動で2分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒にプレゼンテーションの評価をさせることで、聴き手の役割を明確にし、内容理解を促す。</li> <li>・相互評価の得点やコメントは、グループ毎に係りを作り、生徒にあらかじめ一覧にさせておく。</li> </ul>
<p>④活動の反省 (1時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴衆 (見ていた生徒) からの評価を各自で読み、反省の材料とする。</li> <li>・これまでの活動を反省する。</li> <li>・個人の反省とグループの反省を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの反省は、観点を明示して話し合わせ、無駄な時間をなくす。</li> </ul>

評価の観点と方法	教科学習とのつながり など
<p><b>【技能・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションで伝えたいことは何か、集めたデータの中から、整理できるか (自己評価)</li> <li>・思考の過程、根拠、論理性などが構想に活かしているか。 (記録分析)</li> </ul> <p><b>【技能・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データを収集・分類整理し、図表やグラフに表すことができるか <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ収集の方法の記録</li> <li>・データ管理、分析の記録</li> <li>・表現の工夫 (自己評価)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報活用能力 (各教科)」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を集め、まとめ、表現する</li> </ul> </li> <li>「社会的事象の分析 (社会)」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データをもとに実態を把握する</li> <li>・他の地域や過去との比較</li> </ul> </li> <li>「結論や結果の類推 (数学・理科)」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な思考・判断</li> </ul> </li> <li>「実践的コミュニケーション能力 (英語)」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語や文化に対する理解。</li> <li>・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度。</li> <li>・情報や話し手の意向を理解する能力。</li> <li>・自分の考えを表現する能力。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【技能・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハーサルして経験したことを、次に活かすことができるか。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の観点について5段階で評価する (相互評価・教師評価)</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①聴衆を引きつける工夫</li> <li>②絵図の提示方法</li> <li>③プレゼンテーションの内容</li> </ol> <p>&lt;以下教師評価&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④グループの協力体制</li> <li>⑤時間の使い方</li> </ol>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本番の発表のよかったこと悪かったことを以下の観点で反省できているか。 (記録分析・自己評価)</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①テーマの設定②個人の役割分担</li> <li>③作業の手順やペース</li> <li>④発表当日の人の動き</li> <li>⑤テーマについての理解</li> </ol>	